

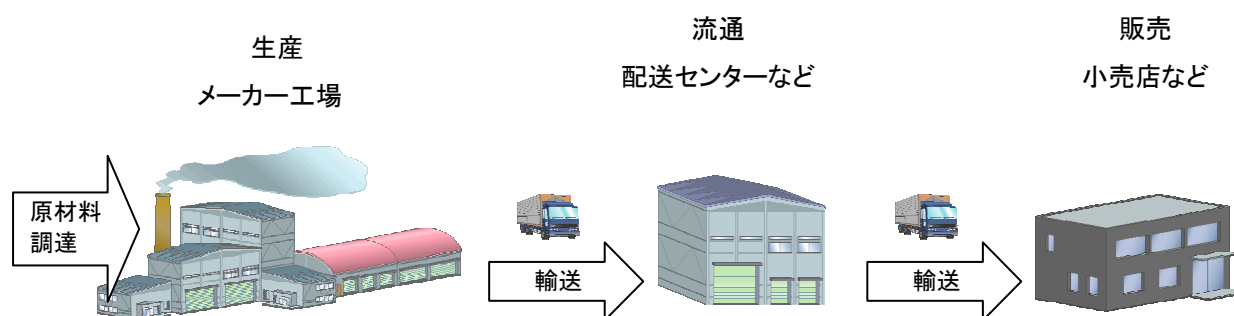
第2部 環境負荷低減方策

～包装、輸送、保管・荷役での取り組み～

第2部では、物流部門で取り組む環境負荷低減の方策について具体的に解説する。初めに包装、輸送、保管・荷役の統合的な流れを整理し、各分野での方策について「CHECK ⇒ PLAN ⇒ DO」に分けて活動内容を検討していく。

1. 包装、輸送、保管・荷役の統合的な整理

図表2-1 ロジスティクスネットワークと構成する各機能のイメージ



工程	生産	輸送	流通	輸送（配送）	販売
機能の整理	○構内移動(横持ち) ○保管用包装 ○保管 ○輸送用包装 ○荷役 	○荷役 ○輸送 	○荷役 ○保管 ○流通加工 ○輸送用包装	○荷役 ○輸送	○荷役 ○陳列等

◇ 各機能の概要

図表 2-2 各機能の整理

ロジスティクスの構成機能	機能が必要となる主な理由	主な機能と役割	環境への取り組みのポイント
包装	後工程の効率化	○商品価値の向上 ○商品の保護 ○荷役作業の効率化 ○積載率・保管効率の向上	・省資源化 ・再生利用 ・再使用
保管	生産と消費の時間的・空間的隔たりの調整	○商品の品質・数量の維持	・スペースの有効活用 ・スペースにあった適性機器の導入 ・保管エネルギーの最小化 ・保管期間の最小化
荷役	生産者と消費者間の輸送中のプラットフォームが異なるための積替え	○保管と輸送を繋ぐ積替え作業 ○機械化による生産性の向上 ※労働環境の改善	・荷役を必要としない仕組みの導入 ・大きな単位にまとめて扱う ・適正な荷役機器の導入
輸送	生産と消費の空間的隔たりの調整	○必要なものを必要な箇所に必要となるタイミングで移動	・適正な輸送機関やルートを選択 ・積載効率の向上
流通加工	顧客の注文への対応	○多品種少量輸送の効率化 ○顧客の荷受け負荷軽減	・移動距離の少ないロケーション管理